

## 子ども医療費 市民の強い要求

## 中学3年まで完全無料化

## 地域活性化は不十分 鶴岡市の新年度予算

課題	事業名	事業費				26年度 事業内容
		H26	H25	H24	H23	
地域審議会の開催	地域審議会運営事業	486万3千円	486万9千円	482万2千円	562万3千円	地域ごとに課題や特性を踏まえたテーマを設定して、今後の地域のあり方について検討を行う。
藤島地域の活性化	地域活性化事業(藤島)	249万9千円	261万9千円	207万1千円	411万4千円	・都市消費者との交流等による人と環境にやさしい農業・農産物の理解促進 ・歴史公園の開園に向けたふじの育成・管理に取り組むボランティア団体の育成支援 ・庄内農業高等学校と地域、関係団体等が連携し取り組む地域活性化に向けた事業への支援 ・市内各地の伝統芸能が一堂に会する鶴岡伝統芸能祭を開催する事業への支援
羽黒地域の活性化	地域活性化事業(羽黒)	217万1千円	298万5千円	291万6千円	354万5千円	・松ヶ岡地域の史跡建造物活用事業策定及び地域活性化に向けた取組みへの支援 ・出羽三山の精進料理を地域内外へ広くPRし、宿坊街に誘客を図る事業への支援 ・映画口ケ誘致や映画を活用した誘客事業の支援及びオープンセットと他の観光施設の周遊ルート整備
櫛引地域の活性化	地域活性化事業(櫛引)	235万4千円	232万7千円	461万2千円	293万円	・フルーツの里づくりに向け観光果樹園や直売施設、観光施設等の連携促進への支援 ・黒川能の後継者育成、研究会開催に対する支援 ・くしびき夏のイベントの開催支援 ・JA青年部が行う都市農村交流と農産物の販路拡大に向けた事業への支援
朝日地域の活性化	地域活性化事業(朝日)	188万円	197万5千円	275万円	326万円	・月山ワインまつりとワイン・山ぶどう製品の販売強化に向けた事業への支援 ・大鳥自然の家におけるちびっこ木の実園の整備 ・小学校スキー教室の実施 ・地域の伝統行事や自然景観等を紹介する地域振興カレンダーの作成 ・大鳥池と赤川におけるヒメマス・イワナの放流
温海地域の活性化	地域活性化事業(温海)	220万円	110万2千円	209万9千円	521万1千円	・焼畑温海かぶのブランド力を更に向上させる取組みへの支援 ・温泉街の情緒を演出する取組みへの支援と魅力ある店舗づくりのための講習会の実施 ・しなの花を活用した加工品の事業化に向けた取組みへの支援
地域間連携による活性化	地域間連携事業 地産地消推進事業	408万3千円	708万9千円	567万円	-	・黒川能と山戸能が競演する「せせらぎの能」や市内各地の伝統芸能を紹介するイベントの実施 ・由良と鼠ヶ岡地区が連携して実施する海洋資源を活かしたツーリズム事業等への支援 ・中山間地域の連携による地元産そば粉の消費拡大への支援
地域の活性化	地域活性化事業		300万円			H25年度総合計画の中間見直しに併せて、新たに地域振興計画を策定する。
地域活性化事業 合計		1110万円	1401万円	1444万円	1936万円	

鶴岡市の平成26年度予算案が18日、議会に示されました。

一般会計では、前年度より11億5300万円(1・9%)増の628億2400万円、3年連続600億円を超え、合併後最大規模となりました。

市民要求の実現では、子どもの医療費助成を1億3700万円増やし、中学3年生まで完全無料化をおこないます。

党市議団が県内の自治体の実態を調べ、鶴岡市の遅れを指摘し、昨年10月の市議選で公約に掲げ、強く実施を求めてきました。

地域住宅リフォーム支援事業8000万円は平成23年度から継続され、新たに本人や同居家族が結婚や出産をした場合の上乗せ助成(婚姻・出産時リフォーム助成5%10万円)200万円を新設しました。

### 合併新市づくり

- ・ 朝日中学校の改築9億2508万円
- ・ 消防温海分署移転改築2億1029万円
- ・ 藤島地域の歴史公園918万円+(3月補正1億3513万円)
- ・ 櫛引・丸岡城跡史跡公園ガイダンス施設585万円
- ・ 櫛引赤川河川緑地トイレ改修(3月補正1800万円)
- ・ 羽黒庁舎改築2256万円
- ・ 手向地区の門前町歴史まちづくり推進事業

414万円

・ 消防救急無線のデジタル化3億6298万円  
・ 過疎対策推進事業では集落支援員の配置や集落ビジョンに基づく実践事業、大鳥地域に地域おこし協力隊2人の配置2191万円、などです。

### 総合交付金

地域コミュニティ活動の支援では、藤島地域の地区公民館の「地域活動センター」再編と指定管理に伴い、「広域コミュニティ推進事業」や「生涯学習振興事業」を増額。

町内会長の特別職報酬等が廃止され「住民自治組織総合交付金」1億4731万円として一本化されました。25年度に市街地に進められたLED防犯灯導入事業3306万円は旧町村に順次進められます。

### 地域活性化事業

各地域の特色を生かした地域づくりの推進では、25年度に地域振興ビジョンを見直し、地域振興計画の策定を進め、地区担当職員制度を新設し、「住民主体の地域づくりの支援、強化」をうたっています。

・ 出羽三山の精進料理魅力発信事業33万円  
・ 温海地域の温泉街賑わいづくり促進事業126万円など

しかし地域庁舎の予算、権限は不十分です。

# 渡前小学校に再び ヤギが来たよ

渡前小学校に18日、5ヶ月ぶりに山羊がやってきました。平成14年から11年間、渡前小で飼育されていた山羊が昨年9月28日に亡くなり、子どもたちは淋しい思いをしていました。

作文で「どよう日、コロナちゃんがなくなりました。わたしは月曜日日、コロに花をあげました。…(かとうはる)と書いていました。土屋常義渡前小学校長が、山大農学部広報誌に農場で飼われている山羊の写真を見たことから、同大学の小沢互教授の紹介で、同農場長の吉田宣夫教授にお願いし、お腹に子ヤギのいる妊娠した山羊2頭が高坂の山大農場から渡前小に送られてきました。



この日、十数年間ヤギおじさんとして親しまれてきた小野寺勇治さん(上荒俣)も参加し、飼育の援助を続けていくとのこと。このメス山羊2頭を渡前小学校で預かり飼育し、5月上旬に渡前

## 怒りの渦中にあるNHK経営委員会の実態

「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇



のとき「不祥事をうやむやにして長期独裁をねらう海老沢さんに」反対表明したが「全会一致で承認」になったことだと言った。

NHK経営委員の右翼的言動が波紋を呼んでいる。初井会長の就任発言「慰安婦問題はどの国にもあった」、公共放送のトップとして許せない暴言である。しんぶん赤旗2月16日付で、「勇氣・言気」ある元経営委員の国立音楽大学名誉教授・小林緑さんが語る、怒りと経営委員会の実態を載せている。小林さんは01〜07年に2期委員を務めている。

月2回、各2時間、経営委員会が開かれる。事務局が準備した議題を承認するだけで、「その他の話題を取り上げたり、個人的な発言をする時間はほとんど」なかったと言ひ、特に疑念を持ったのは03年会長選考で、3期目を目指す海老原勝二会長

小で出産後、1ヶ月間は山大に里帰り保育、6月中旬に子ヤギがやってくるとのこと。渡前小学校では、「動物とのふれあいを通したいのちの教育」をテーマに、ヤギおじさんや山大の学生などとの交流で、「いのちの大切さ」や地域ともつながる心を育てていくとのこと。

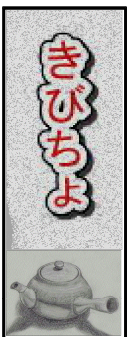
## 馬渡(まわたり、羽黒・櫛引)

大沼 浩

馬に乗ってなら渡れる」二支獣は馬です。馬渡は地形図では櫛引地区黒川ですが、羽黒町広瀬に下馬渡があり、渡し場の名が赤川東岸の地域に広がったのでしよう。

日本国語大辞典は、うまわたりとして「馬に乗って渡ることができ谷や川など。各地に地名として残っている」といいます。各地にうまわたり、うまわたしがあり、「もあたに」と読む馬渡谷もあります。説明としては「徒歩では渡れないけれど、

戦争反対を貫いた女性作曲家・吉田隆子を描いた「吉田隆子を知っていますか」(12年9月2日放送など素晴らしい番組もつくっている。しかし「安倍首相



## 五十川小学校の尺八教室

去年は猛吹雪だった2月7日は上天気というところ。今回で3年連続となる五十川小学校の尺八教室。時間がとれたということ。鶴岡竹友会(代表・佐藤晃馨氏)から都合のつく者5人が出かけた。▼給食前の1時間、5〜6年生を前にしての登壇は、呼び音返し音という先生の呼び音に

の応援団を公言する経営委員や歴史認識が問われる会長のもとで、こうした番組がつけられるのでしょうか。公共放送が『国策放送局』にならないよう私も声を上げていきたい」と決意している。

今回は作務衣に袈裟と天蓋(虚無僧が被るアレ)姿だから皆ビックリの様子。▼2曲終わって恰好やら尺八の説明をして音出した。音の出やすい物と考えて塩ビ管製で市販の物を使ったがナカナカというところ。

そんな折、本物を使って音が出た子がいたの。でみんな本物を使用。十数分間で音の感ずる子からキレイな音に成ってる子まで、全員が喜べる状況になった。▼それではと次の演奏。ピリッという曲です

馬に乗ってなら渡れる」丸木橋や板橋で人間は渡れるが牛馬は手綱を引きながら川床を渡した「どぶ川で馬でなければ渡れない」などがあります。赤川にはあまり当てはまらないようです。角川地名大辞典は、櫛引町史をひいて、赤川を人々が渡る「その船は当村の者が渡した」といいますが、馬が出てきません。人と馬が一緒に渡るには、渡し場に馬渡り船という大型の渡し船があったのでしよう。

が、これに二部合唱で合わせてくれた。これにはビックリするやら感動するやらで、先生が子ども等にありがとう、感動でウルウルしてきたと話したが、俺のは落ちたヨだった。

尺八を並べた長さのこと、色が黒いのはよく使っている物。竹は使わないと何年経っても同じ色なのだ。またこれは1本が車1台分、こっちは自転車1台分との説明にまたビックリの状況。

給食は全校生が教師も一緒に1教室で頂くのだったが、詳細は紙面の都合でカット。▼給食が終わって多くの子どもが集まってきた。天蓋を喜ぶ子、音を出したい子、それぞれだったが、全員音を感じてくれたようで、尺八ファンが増える感じの一時でした。(石川)